



(別添)

2020年7月21日
NITE (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
製品安全センター大阪本部

News Release

楽しいはずの「おうちごはん」で事故のおそれ ～台所用品による子どもの事故に注意！使い方を教えて、見守る～ -近畿2府4県における事故の防止-

1. 事故発生状況

NITE (ナイト) に通知された製品事故情報^{※1}において、台所用品による子ども^{※2}の事故は、近畿地方2府4県(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)では、2010年度から2019年度までの10年間に合計15件ありました。

(1) 年度別 事故発生状況

表1に「年度別 府県別 事故発生状況」を示します。

表1 年度別 府県別 事故発生状況^{※3} (単位: 件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生件数	2010年度	1	1	1				3 [0]
	2011年度				1 [1]			1 [1]
	2012年度			1	1			2 [0]
	2013年度		1 [1]	2 [2]		1 [1]		4 [4]
	2014年度				1			1 [0]
	2015年度							0 [0]
	2016年度							0 [0]
	2017年度			1	1			2 [0]
	2018年度		1 [1]					1 [1]
	2019年度			1				1 [0]
合計	事故件数	1	3	6	4	1	0	15
	火災件数	[0]	[2]	[2]	[1]	[1]	[0]	[6]

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含める。

(※2) 0歳から15歳までの子どもが対象。

(※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。[]は火災件数。

(2) 被害状況

表2に「府県別 被害状況」を示します。

表2 府県別 被害状況^{※4} (単位：件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人 的 被 害	死 亡			1 (1) [1]				1 (1) [1]
	重 傷							0 (0) [0]
	軽 傷	1 (1)	1 (1)	3 (3)	3 (3)			8 (8) [0]
物 的 被 害	拡 大 被 害		1 [1]	1 [1]	1 [1]	1 [1]		4 (0) [4]
	製 品 破 損		1 [1]	1				2 (0) [1]
被害なし								0 (0) [0]
合計	事故件数	1	3	6	4	1	0	15
	被害者数	(1)	(1)	(4)	(3)	(0)	(0)	(9)
	火災件数	[0]	[2]	[2]	[1]	[1]	[0]	[6]

(※4) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。()は被害者数。[]は火災件数。

(3) 製品別 事故発生状況

表3に「製品別 府県別 事故発生状況」を示します。

表3 製品別 府県別 事故発生状況^{※5} (単位：件)

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
ガスこんろ	事故件数	1	1	2		1		5
	火災件数		[1]	[1]		[1]		[3]
食器・容器	事故件数		1	1	2			4
	火災件数							[0]
オーブントースター	事故件数			1				1
	火災件数			[1]				[1]
調理用具	事故件数				1			1
	火災件数							[0]
電気ポット	事故件数			1				1
	火災件数							[0]
電子レンジ	事故件数		1					1
	火災件数		[1]					[1]
IH調理器	事故件数				1			1
	火災件数				[1]			[1]
なべ	事故件数			1				1
	火災件数							[0]
合計	事故件数	1	3	6	4	1	0	15
	火災件数	[0]	[2]	[2]	[1]	[1]	[0]	[6]

(※5) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。 [] は火災件数。

2. 事故事例の概要

(1) ガスこんろでやけど

2011年2月（滋賀県、12歳・男子、軽傷）

【事故の内容】

ガスこんろの点火操作を繰り返したところ、小爆発し、顔に軽いやけどを負った。

【事故の原因】

こんろの汁受け皿にアルミマットを敷いていたため、点火スパークによりバーナーが着火できない状態となり、繰り返し着火操作を行ったことから、異常着火が発生したものと考えられる。

なお、取扱説明書には、アルミマットの使用禁止及び不着火時の繰り返し操作禁止を記載している。

(2) IH調理器で火災

2011年7月（兵庫県、年齢不明・女子、拡大被害）

【事故の内容】

IH調理器で揚げ物を調理中、その場を離れていたところ、発火して周辺の壁などが焦げた。

【事故の原因】

鍋底が反った天ぷら鍋を使用し、少量の油で調理したため、安全装置のセンサーがなべ温度を正常に検知せず、使用者がその場を離れていたことから、天ぷら油が過熱され、発火したものと推定される。

なお、取扱説明書に「揚げ物調理中はそばを離れない」、「鍋底に反りのあるものは使わない」、「500g未満の油では調理しない」旨、記載している。

3. 台所用品による子どもの事故の映像について

台所用品による子どもの事故の再現映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+niteロゴ」としてください。

（本件に関するお問い合わせ先）

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

製品安全広報課 課長 柿原 敬子

担当者：製品安全広報課 小寺

電話：06-6612-2066 E-mail：ps@nite.go.jp FAX：06-6612-1617